

服用前にこの説明書を必ずお読みください。  
また、必要な時に読めるよう保管してください。

かぜの11症状に(のどの痛み・せき・熱・鼻みずなどに)

# パブロンエースAX錠

第1類医薬品

〈総合かぜ薬〉

◆パブロンエースAX錠は、アムプロキソール塩酸塩をはじめ、9種類の有効成分を配合し、のどの痛み、せき、たん、熱、鼻みずなど11のかぜの諸症状に効果をあらわす総合かぜ薬です。



## 使用上の注意



### ⊗ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります)

- 次の人は服用しないでください
  - 本剤によるアレルギー症状を起こしたことがある人。
  - 本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
  - 15才未満の小児。
- 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください  
他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬(鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬)
- 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください  
(眠気があらわれることがあります)
- 授乳中の方は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けてください  
(動物試験で乳汁中への移行が認められています)
- 服用時は飲酒しないでください
- 5日間を超えて服用しないでください



## 相談すること

- 次の人は服用前に医師又は薬剤師に相談してください
  - 医師又は歯科医師の治療を受けている人。
  - 妊婦又は妊娠していると思われる人。
  - 高齢者。
  - 本人又は家族がアレルギー体質の人。
  - 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
  - 次の症状のある人。  
高熱、排尿困難
  - 次の診断を受けた人。  
甲状腺機能障害、糖尿病、心臓病、高血圧、肝臓病、腎臓病、緑内障、全身性エリテマトーデス、混合性結合組織病
  - 次の病気にかかったことのある人。  
胃・十二指腸潰瘍、潰瘍性大腸炎、クローン氏病
- 次の場合は、直ちに服用を中止し、この説明書を持って医師又は薬剤師に相談してください
  - 服用後、次の症状があらわれた場合。

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ、浮腫
消化器	悪心・嘔吐、食欲不振、胃部不快感、胃痛、腹痛、胃・腹部膨満感、胸やけ、口内炎
精神神経系	めまい、しびれ感
その他	目のかすみ、耳なり、排尿困難、むくみ

まれに右記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、息苦しさ等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死症 (ライエル症候群)	高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれ等の激しい症状が、全身の皮膚、口や目の粘膜にあらわれる。
肝機能障害	全身のだるさ、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)等があらわれる。
腎障害	尿量が減り、全身のむくみ及びこれらに伴って息苦しさ、だるさ、悪心・嘔吐、血尿・蛋白尿等があらわれる。
無菌性髄膜炎	首筋のつっぱりを伴った激しい頭痛、発熱、悪心・嘔吐等の症状があらわれる。(このような症状は、特に全身性エリテマトーデス又は混合性結合組織病の治療を受けている人で多く報告されている)
間質性肺炎	空せき(たんを伴わないせき)を伴い、息切れ、呼吸困難、発熱等があらわれる。(これらの症状は、かぜの諸症状と区別が難しいこともあり、空せき、発熱等の症状が悪化した場合にも、服用を中止するとともに、医師の診療を受けること)
ぜんそく	

- 2～6回服用しても症状がよくなる場合。  
(特に熱が3日以上続いたり、又は熱が反復したりするとき)
- 次の症状があらわれることがあるので、このような症状の継続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師又は薬剤師に相談してください  
便秘、口のかわき、下痢

## 用法・用量

次の量を食後なるべく30分以内に服用してください。

年齢	1回量	服用回数
15才以上	3錠 	1日3回
15才未満	服用しないこと 	

### [注意]

- 定められた用法・用量を厳守してください。
- 錠剤の取り出し方  
図のように錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押し、裏面のアルミ箔を破り、取り出して服用してください。  
(誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります)



## 効能

かぜの諸症状(のどの痛み、せき、発熱、鼻みず、鼻づまり、くしゃみ、たん、頭痛、悪寒、関節の痛み、筋肉の痛み)の緩和

のどの痛み・  
発熱などに



せきやたん



くしゃみ・  
鼻みず・  
鼻づまりに



## 成分

3錠中

イブプロフェン 150mg  
発熱、頭痛、のどの痛み等、熱と痛みをしずめます。

アムプロキシソール塩酸塩 15mg  
せきの原因となるのどにからまるしつこいたんを出しやすくします。

ジヒドロコデインリン酸塩 8mg  
せき中枢にはたらき、せきをしずめます。

d-メチルエフェドリン塩酸塩 20mg  
気管支を広げ、呼吸を楽にして、せきをしずめます。

クロルフェニラミンマレイン酸塩 2.5mg  
くしゃみ、鼻みず、鼻づまりの症状をおさえます。

無水カフェイン 25mg  
頭痛をしずめます。

チアミン硝酸塩(ビタミンB<sub>1</sub>硝酸塩) 8mg

リボフラビン(ビタミンB<sub>2</sub>) 4mg

アスコルビン酸 166.7mg  
(ビタミンC) (9錠中500mg)

かぜの時に消耗しやすいビタミンを補給します。

添加物：セルロース、ヒドロキシプロピルセルロース、無水ケイ酸、ヒプロメロース、タルク、メタケイ酸アルミン酸Mg、ステアリン酸Mg、D-マンニトール、クロスCMC-Na、カルナウバロウ、ポリビニルアルコール(部分ケン化物)、酸化チタン、大豆レシチン、三酸化鉄

### [注意]

本剤の服用により、尿が黄色になることがありますが、これは本剤中のビタミンB<sub>2</sub>によるもので、ご心配ありません。

## 保管及び取扱い上の注意

- 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- 小児の手のとどかない所に保管してください。
- 他の容器に入れかえないでください。(誤用の原因になったり品質が変わることがあります)
- 使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。なお、使用期限内であっても、開封後は6ヵ月以内に服用してください。(品質保持のため)

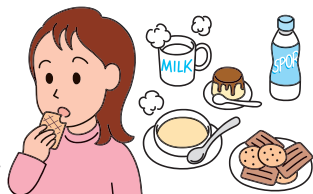


## くすりのQ&A

**Q** 食後に服用することになっていますが、食欲がない時はどうしたらいいですか？

**A** ビスケットや牛乳等、少量でも食べ物・飲み物をとってから服用してください。

一般にかぜ薬は「食後なるべく30分以内に服用する」ことになっています。それはかぜ薬に入っている熱や痛みをとる成分が胃酸の量を多くし、胃を荒らす場合があるからです。ですから、食欲がなくてきちんと食事がとれない時でも、食べやすいものを少量でも胃に入れてから服用するようにしてください。



本剤をご使用になられて、好ましくない症状があらわれる等、何かお気付の点がございましたら、お買い求めのお店又は下記までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

**連絡先** 大正製薬株式会社 お客様119番室

**電話** 03-3985-1800

**受付時間** 8:30~21:00(土、日、祝日を除く)



**大正製薬株式会社**  
東京都豊島区高田3丁目24番1号  
<http://www.taisho.co.jp>

## 副作用被害救済制度のお問い合わせ先

(独)医薬品医療機器総合機構 <http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>  
電話：0120-149-931(フリーダイヤル)